

大津町幼小接続期カリキュラム

幼稚園・保育所等 アプローチ期(年長 1月～3月)		小学校スタート期(小学校1年生 4月～7月)					教科等	
領域	ねらい	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿	4月 スタートカリキュラム	5月	6月	7月		
健康	<ul style="list-style-type: none"> 家庭と協力しながら早寝、早起きの習慣を身につける(22時前までに就寝) 手洗い、うがい、衣服の着脱などの習慣を身につける 活動の区切りや、時間を意識して行動する 食事のマナーを守って楽しく食べる(時間内に食べる、箸を正しく持つ、よく噛む、正しい姿勢で食べる、皿を手に持つ、好き嫌いをしない等) 交通のきまりを守る(横断歩道の渡り方、飛び出さない等) 防災、防犯の意識をもつ(「おはしも」、「いかのおすし」) きまりの必要性を理解し、約束を守って行動する 	 健康な心と体  自立心  協同性  道徳性規範意識の芽生え	スタートカリキュラム 各週のねらい(例) 第1週:学校生活に必要なことを少しずつ覚えながら安心して楽しく過ごす。 第2週:友達と一緒に活動することに関心を持ち、友達と遊んだり学習に取り組んだりする。 第3週:学校での学習やみんなまで過ごすことに関心を持って、活動に意欲的に取り組む。 1日を安心して、楽しくスタート 幼児期に親しんできた遊びや活動、交流する活動を位置付ける(園で読んでいた絵本等) 生活科を中心とした 合科的・関連的な単元構成 生活科「がっこうだいすき」を中心に学活、道徳、国語等、つながりのある他教科等のねらいを考えながら合科的・関連的な指導を行う。 新しい友達と交流ができる学習活動 「自己紹介」「学校探検」「歌っておどろろ」等、新しい友達と交流ができる学習活動に取り組ませる。 ゆったり2時間続きの学習活動 生活科「学校探検」、国語・書写「字を書こう」等、ゆったりとした時間の中で思いや願いの実現に向けた学習活動に取り組ませる。 15分程度の短い時間を弾力的に活用した学習活動 児童の実態や学びの特徴を踏まえ15分程度の時間で時間割を構成する。 直接体験を通じた学習活動 幼児期の生活や遊びの中で体験してきたことと関連させた直接体験を通じた学習活動に取り組ませる。(校庭での遊び方、給食・掃除の仕方等) スタートカリキュラムにおいて、合科的・関連的な指導も含め、子どもの生活の流れの中で、幼児期に育まれた姿が発揮できるように工夫を行う。 幼児期に総合的に育まれた「見方・考え方」や資質・能力を徐々に各教科等の特質に応じた学びにつなぐ。	がっこうだいすき 学校のことがしりたいな ・学校の1日 ・教室や道具の使い方 みんなとなかよくなりたいたい ・校庭での遊び方 友だちと学校を探検しよう	学校にいる人と仲良くなる ・学校の先生の仕事を みつけたことを伝えよう ・絵や言葉で、友達と伝えよう みんなで通学路がある ・通学路の交通ルールを知る	きれいにさいてね 種をまこう ・朝顔の種の観察、種まき 世話をしよう 花の様子を伝えよう ・成長の様子の観察 ※たねをとろうは10月	なつがやってきた 校庭で草花や虫をさがそう みんなの公園であそぼう ・公園の使い方、自然の様子 水で遊ぼう ・水を使った遊びを楽しむ たのしかったことをつたえよう	生活
				共通の目的に向かって、友だちと分担したり、協力したりする(ごっこ遊び、サッカー、ドッジボール等) ・いろいろな遊びを楽しみながら物事をやり遂げようとする気持ちをもつ ・地域の人たちと交流をする ・お世話になった身近な人への感謝の気持ちをもつ(保護者、先生、在園児等)	社会生活との関わり 	がっこうだいすき (学校・集団生活) ・学校の生活場面を描いた絵を通して、学校生活を楽しもうとする心情を育てる きもちのよいせいかつ(節度・節制)	あかあいあいさつ(礼儀) なかよくな (友情・信頼)	よいこととわるいこと(善悪・自律・自由と責任) みんなじょうず(個性の伸長) みんないきてる(生命の尊さ) かぼちゃのつる(節度・節制)
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> 生活や遊びの中で、文字や標識に興味、関心をもつ(絵本を読む、自分の名前がわかる、身近にあるマークや標識を知る等) 生活や遊びの中で数えたり、比べたり、組み合わせたりして数量や図形などに興味、関心をもつ(すごろく、パズル等) 飼育、栽培を通して命の尊さを感じる(チューリップ、野菜、金魚、メダカ等) 自然に触れ親しみ、その美しさや不思議さを味わう 	思考力の芽生え 	はじめよう ・言葉のリズムを楽しむ よろしくね/つながることば/こえをとどけよう ・挨拶や自己紹介 えんぴつをつかうときにたしかめよう/かいてみよう ・姿勢や鉛筆の持ち方、ひらがな「つ」「く」「へ」「い」「こ」 あいうえおのうた/あいうえおのことばをあつめよう/ほんがたくさん ・口形に気をつけた音読 ・読み聞かせ	あめですよ ・絵と言葉を結び付けて、様子を思い浮かべて音読する 「や」のつく字/文をつくらう ・「清音」「濁音」「半濁音」 みんなにはなそう ・相手に聞こえるように話す さとうとしお/とんとことん ・話の内容の大体を捉える ・話の場面を想像しながら音読を楽しむ 「は」「を」「へ」の使い方	きいてつたえよう ・大事なことを落とさず聞くことばあそび ・しりとりやことばみつけ あひるのあくび/のぼすおん/ちいさいやゆよ ・五十音を音読 ・長音、拗音等の表記 どうやってみまもるのかな ・説明の順序、重要な語や文に気付く こんなことしたよ 経験したことを伝える	おおきなかぶ ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に総合しながら物語を読む かぞえうた ・漢数字を読んだり書いたりする えにつきをかこう ・経験したことを文章に書く としよかんはどんなところ ・学校図書館を利用して読書に親しむ	国語	
			数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 	算数への導入(わくわくスタート) ・同じものをまとめて、囲む ・1対1対応(線結び) かずとすじ ・5までの数(数字・数詞・分解・合成) ・10までの数(唱え方、大小比較) ・10までの数字のかき方	なんばんめ ・りんごは、右から3番目(順序数) いくつといくつ ・6、7、8、9、10の合成・分解(10は、3と7等) ・お皿には、0こ(操作)	いろいろなかたち ・にている形でなかまわけ ・さんかく、しかく、まる ふえたりへたりたしざん(1) ・あわせて、みんな、ぜんぶで ・答えが10までのたし算	ひきざん(1) ・のこりは、いくつ(求残) ・ちがいは、いくつ(求差) ・7-3=4 ちがいは、4こ かずしらべ ・一番多い、少ない ・絵を使ったグラフ	算数
言葉	<ul style="list-style-type: none"> 人の話を聞いて行動する 考えたことや、経験したことを相手に伝える 絵本や物語などの面白さがわかり、想像して楽しむ(読み聞かせを通して) あいさつや返事を進んでする 	言葉による伝え合い 	うたっておどってなかよくなる うたってなかよし/セブンスステップ/チェッチェコロ(共)/ひらいたひらいた	はくをかんじとろう さんぼ/じゃんけんぼん/なまえあそび/フルーツランド/みんなであそぼう	はくによってリズムをうとう しろくまのジェンカ(共)/かたつむり/ぶんぶんぶん/ことばでリズム	みのまわりのおとにみみをすまそう おとをさがしてあそぼう うみ(共)	音楽	
			すきなかたちやいろいろな色に/かきたいものな ・色々な形や色を基に、表現したいことを見付け、表現する(クレヨン・クレパス、ペンなど)	チョキチョキかざり ・紙を使った形づくり(折り紙、色紙、はさみ、のりなど) すなやつちとなかよし ・砂や土、粘土の感触を味わい、作ることを楽しむ	ひもひもねんど ・粘土を紐状にしながら立体的に表す みてみてあね ・生活の中を思い浮かべながら楽しく絵に表す	おってたたら ・紙を折って立てて表すことを楽しむ	図工	
表現	<ul style="list-style-type: none"> 楽器を使い、音色の美しさや、リズムの面白さを味わう 自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりする楽しさを味わう 制作活動で、いろいろな素材を使う中でその特性を知り、それを活かした使い方に気付く 	豊かな感性と表現 	体ほぐしの運動遊び ・ペアでストレッチ、だるまさんが転んだ、増やし鬼、じゃんけん列車等	固定施設遊び 鉄棒、登り棒、ジャングルジム等 かけっこ くねくねコース、ぐるぐるコース	鬼遊び 手つなぎおに、しっぽ取りおに等 多様な動きをつくる運動遊び バランス、用具を使った動き	水遊び 水につかって遊ぶ、水に潜ったり浮いたりして遊ぶ	体育	
			幼児期 学びの芽生え ●5領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)を総合的に学んでいく教育課程等 ●子どもの生活リズムに合わせた1日の流れ ●身の回りの「人・もの・こと」が教材 ●総合的に学んでいくために工夫された環境の構成	円滑な接続	児童期 自覚的な学び ●各教科等の学習内容を系統的に学ぶ教育課程 ●時間割に沿った1時間の流れ ●教科書が主たる教材 ●系統的に学ぶために工夫された学習環境	など	小学校教育	